遊んだ後は

1.本体と送信機の電源をOFFにします。
2.送信機から電池を外してください。
3.異常個所や破損個所がないか、ゴミが絡まってないかチェックしてください。
4.元通り箱に入れてください。

仕　様

●対象年齢　：　15歳以上
●使用周波数帯　：　赤外線
●アクション　：　上昇下降、前進後進、左右旋回、ホバリング
●飛行時間　：　最大6～7分
●操作距離　：　最大10メートル
●充電時間　：　約50～60分
※充電の方法について、取扱説明書の方法を絶対に守ってください。
●飛行場所　：　屋内専用
●電源　：　（本体）リチウムイオン充電池（内蔵）
（送信機）送信機使用電池：単3アルカリ電池×6本（別売）

※電池は正しくセットし、新旧の電池を混ぜて使用しないでください。長時間使用しない場合は電池を抜いて保管してください。
※飛行時間、操作距離、充電時間はあくまでも目安です。使用状況によって変わります。
※送信機の電池が消耗して本体へ充電できない場合は電池を全部新しいものに交換してください。
※送信機の電池は単３アルカリ電池を使用してください。充電式電池、マンガン電池は使用しないでください。
また粗悪な電池も使用しないでください。

アフターサービスについて

故障かな？と思ったら／アフターパーツ（別売部品）の販売／修理については下記カスタマーサポートへ電話、FAXもしくはメールでご相談ください。

製品サービス保証書

■無料修理規定

1. 取扱説明書等の注意書きに従って正常な使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合には、弊社カスタマーサポートへお問い合わせください。
3. ご贈答品、ご転居等で購入先がご不明の場合は株式会社トーコネにお問い合わせください。
4. 保証期間内でも次の場合は有料修理になります。
（イ）使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
（ロ）お買い上げ後の落下等による故障及び損傷
（ハ）火災、地震、水害、落雷、その他天変地異、公害や異常電圧による故障及び損傷
（ニ）本書の提示がない場合
（ホ）本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店の記入のない場合、或いは字句を書き換えられた場合
（ヘ）ご使用による汚れ
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。 This warrnty is valid only in Japan.
6. 本書は再発行しませんので紛失しないよう大切に保管してください。
※お客様にご記入頂いた個人情報（保証書記入内容）は、保証期間内の無料修理対応及び安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。

ご購入時に発行されるレシートと本保証書は大切に保管しておいてください。

ご購入日確認のため使用いたします。ご購入日が不明な場合は保証の対象外となります。本保証書の記入事項にご記入いただき、保証内容をよくお読みの後、大切に保管してください。レシートがない場合は、ご購入年月日が証明できる書類（販売店より発行された保証シール、納品書など）にて代替えすることができます。

製品名	極空 PLASMA II（ゴクー プラズマII）	型　番	GP2-25
販売店名		お買上げ日	年　月　日

保証期間：お買い上げ日より１ヶ月　※ご記入のない保証書は無効となり、無料修理はできなくなります。

ふりがな		E-MAIL	
ご氏名		ご住所	〒

この度は弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。保証書は必ず「販売店名」「お買い上げ日」等の記入をお確かめになり、保証内容をよくお読みの後、大切に保管してください。保証期間はお買い上げ日より1ヶ月です。

株式会社 トーコネ　カスタマーサポート
〒175-0094 東京都板橋区成増 5-23-11
TEL:03-3939-4693（代表）　FAX:03-3939-9427（代表）
メール:trading@to-conne.co.jp
ウェブ：http://www.to-conne.co.jp/
営業時間：平日9時～12時/13時～17時

ご使用していただく前に

●この取扱説明書をよくお読みのうえ正しく安全に遊んでください。　●取扱説明書は大切に保管してください。
●ヘリコプターの操縦は、飛ばす時の状況や操縦者のミスなどにより他人に怪我をさせたり物を壊してしまうなどの予期せぬ事故が起こる可能性があります。
ぜひ、お客様が事前に個人賠償責任保険などにご加入のうえ、お遊びいただくことをお勧めします。詳しくは一般の保険会社にお問い合わせください。

⚠ 注　意

●墜落や衝突による破損、水没、紛失、事故、怪我などには十分注意してください。
・操作ミスで墜落や衝突により破損した場合、修理費用はお客様のご負担になります。また、飛行されたあとの機体の破損等は保証対象外となります。
・水没、紛失、怪我、事故、トラブルについて当社は一切の責任を負いません。
●ローターは高速で回転するため、目などに当たると失明などの危険があります。
飛行させる場合、飛行させる範囲に人がいないことを確かめてから操縦を始めてください。

《高速で回転するローターは怪我をする危険があります。》
●ローターに指や髪の毛、衣服などが巻き込まれないように注意してください。巻き込まれた場合怪我をする危険があります。
●幼児や小さいお子様の手の届くところで操作しないでください。回転するローターで怪我をする危険があります。

《内蔵されているリチウムイオン電池を誤使用すると、発熱・破裂・発火などの可能性があります。重大な事故の原因となりますので下記の事項に注意してください。》
●充電方法や充電時間は、取扱説明書に記載されている方法を厳守してください。
●ショートさせたり、分解・改造したり、火の中に入れないでください。火災、怪我、思わぬ事故の原因になります。
●充電は充電時間を厳守し、長時間放置せず目の届く、燃えやすい物の無い場所で行ってください。
●火気の近く、直射日光のあたる場所、高温多湿になる場所、車中での充電・保管はしないでください。
●充電中に下記の異常が起きた場合は、すぐに充電をやめコード類を外した上で、カスタマーサポートまでご連絡ください。
異常に熱くなる、異臭・煙が出た、バッテリーまたは本体が膨らんだ、コード類が溶けた
●万一、電池からもれた液が目に入った場合はすぐに大量の水で洗い、医師に相談してください。皮膚や服についたときは水で洗ってください。
●充電が完了したら、ACアダプタを本体から外してください。
●使用後は必ず電源スイッチをOFFにしてください。ONのままにしておくと内蔵電池に悪影響を及ぼし、充電できなくなることがあります。
また、思わぬ事故の原因になる恐れもあります。
●幼児や小さな子供の手の届くところでは充電しないでください。
●充電中は叩いたり、落としたり等の衝撃を与えないでください。

《送信機に使用する単3アルカリ電池を誤使用すると、発熱・破裂・液漏れの危険がありますので下記の事項に注意してください。》
●電池は正しくセットし、新旧の電池、いろいろな種類の電池を混ぜて使用しないでください。長時間使用しない場合は電池を抜いて保管してください。
●送信機の電池は単3アルカリ電池を使用してください。充電式電池、マンガン電池は使用しないでください。また粗悪な電池も使用しないでください。
●電池の＋・－（プラス・マイナス）を正しくセットしてください。
●使用した後は必ず電源スイッチをOFFにし、電池を外してください。電池の消耗や思わぬ事故の原因になる恐れもあります。

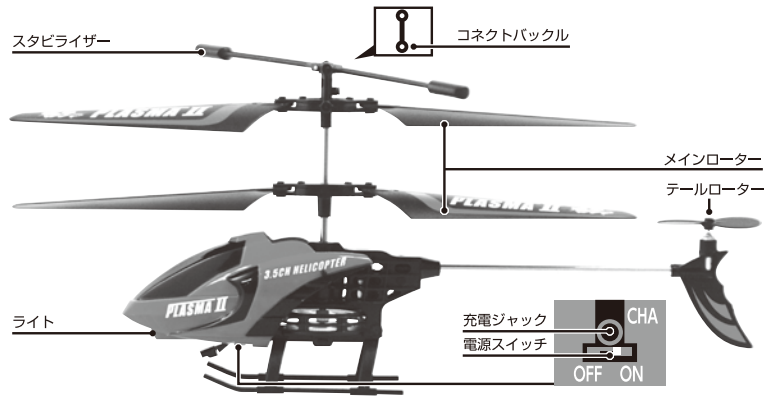
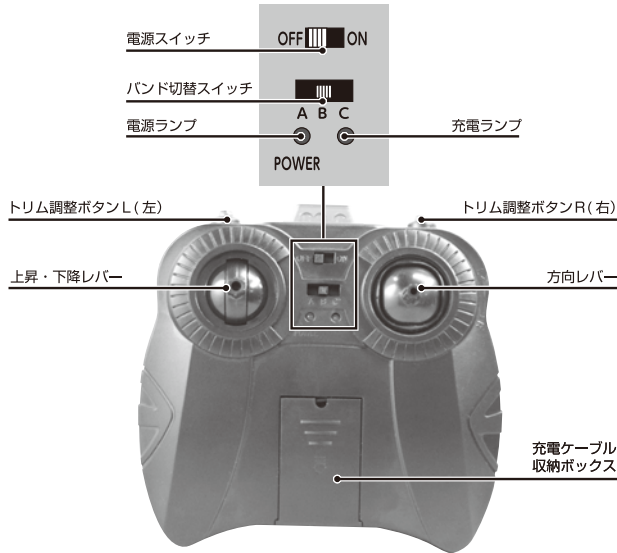
《思わぬ事故の元になりますので、下記に注意してください。》
●使用前に必ず本体、送信機に破損個所がないか確認してください。破損した状態では飛ばさないでください。
●本体や送信機の分解や改造をしないでください。また異物を入れないでください。
●誤作動を防ぐため、電源は必ず飛行させる直前に入れ、それ以外の時は必ず電源をお切りください。
●対象年齢未満の子供のいるところで使用しないでください。また、対象年齢未満の子供に使用させないでください。思わぬ事故・怪我をするおそれがあります。
●操縦中は腰掛けたり、寝転んだりせず、何かあったらすぐに動ける体勢で操縦してください。
●落としたり、衝撃を与えないでください。また、各パーツは無理に曲げたり、引っ張ったりしないで下さい。
●使用した後は、必ず小さなお子様の手の届かないところに保管してください。
●夏場の閉め切った車の中などの高温になるところでの保管は絶対にしないでください。またヒーターなどの温風が出るところに置かないでください。
●破損したローターで使用しないでください。破損したローターは接着しての使用はできません。

《その他の注意》
●ローターに無理な力が加わった状態で動作させないでください。故障の原因になります。
●飛行中は本体から目を離さないようにしてください。
●気温の低い時は充電池の性能が落ちることがあります。できるだけ暖かい場所で遊んでください。
●飛行時に本体、ローターが家具や壁にぶつかりそうになったら操作を中止してください。
●初心者の方は必ず送信機の操作に慣れた上で、低い高さで充分練習をしてください。
●送信機や機体の電池が消耗すると、制御できる距離が短くなったり、正しく飛行できなくなります。速やかに充電、電池を交換してください。
●気温5℃以下の場所では使用しないでください。充電池の性能が十分に発揮されず、正常な操作ができない恐れがあります。
●破損・変形を防ぐため、運搬時や長期保管するときは電池を抜き、パッケージにいれて保管してください。
●機体は風の影響を非常に受けます。風のある場所では流されたり正常に飛行できません。

セット内容

●本体　×1　●送信機　×1　●取扱説明書兼保証書　×1　●予備パーツ一式

各部の名称

本体

送信機

※商品の仕様及び外観は、改良のため予告なく変更する場合がございますので予めご了承ください。

送信機の電池のセット方法

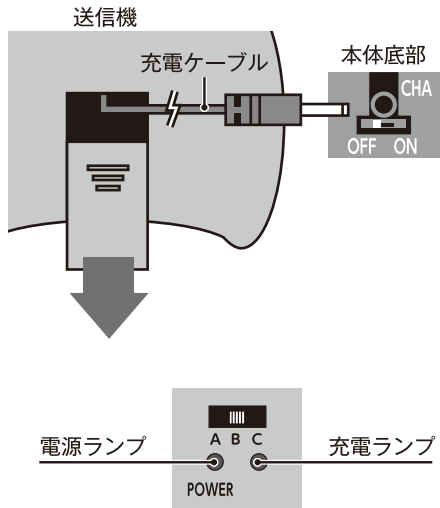
1.送信機の電源スイッチをOFFにします。
2.後面の電池カバーを外します。
3.単３形アルカリ乾電池を電池の向き（プラス・マイナス）を確かめて正しく入れてください。
4.電池カバーを取り付けます。
※送信機の電池は単3アルカリ電池を使用してください。充電式電池、マンガン電池は使用しないでください。また粗悪な電池も使用しないでください。
※電池は正しくセットし、新旧の電池を混ぜて使用しないでください。　長時間使用しない場合は電池を抜いて保管してください。

充電方法

《送信機から本体への充電》

1.送信機の電源をOFFにします。
2.本体の電源をOFFにします。
3.送信機の充電ケーブル収納ボックスの蓋を下にスライドさせ充電ケーブルを出します。
4.充電ケーブルを本体の充電ジャックに挿し込みます。
5.送信機の電源スイッチをONにします。
6.充電中は送信機の充電ランプが緑に点灯します。（同時に電源ランプは赤色に点灯しています。）
7.充電完了後は送信機の充電ランプが消灯します。
8.充電完了後、送信機の電源をOFFにして、充電ケーブルを本体から抜いてください。

送信機　充電ケーブル　本体底部　CHA　OFF ON

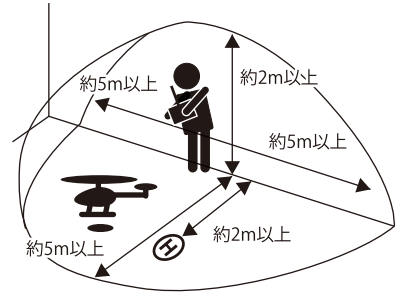
電源ランプ　A B C　POWER　充電ランプ

⚠ 電池の寿命や充電時間は電池メーカー、使用状況によって異なります。
⚠ 充電は必ず目の届く周りに何も無いところで行ってください。
⚠ 充電中は、本体及び送信機に異変が無いことを常に確認してください。
⚠ 充電中に次のような異変が起きた場合はすぐに送信機の電源をOFFにし、本体から
充電ケーブルを抜いて弊社カスタマーサポートまでご連絡ください。
・異常に熱い　・異臭がする　・煙が出ている　・電池が膨らんだ

《本体に使われているリチウムイオン電池の充電、保管について。》

直射日光の当たる場所、高温になる場所、車中での充電、保管は絶対にしないでください。
また、本体を水や火の中に入れたり、分解、半田付けは絶対にしないでください。
使用後は必ず本体の電源スイッチをOFFにしてください。電源スイッチがONのまま放置すると再充電できなくなる恐れがあります。
長期保存する時は、本体の電源スイッチをOFFにして保管してください。

飛ばす前に

〈飛行環境と注意〉

●周囲に人や壊れやすい物等、障害物が無い、動きやすい場所を選んでください。
●本体は必ず水平な位置に置いてください。
●飛行中は本体から目を離さないでください。
●コントローラーのレバー操作は常に少しずつおこなってください。
　※急な操作は本体のバランスをくずします。
　※上昇より下降が難しいです。ゆっくりレバーを操作してください。
●落下した時はすぐに上昇/下降レバーを一番下に下げてください。
●風の影響を強く受けますのでエアコン等を切り、無風状態で飛行させてください。
●風の無い場所を選び、高度は2m程度に押さえましょう。

操作方法

〈電源の入れ方および周波数の選択〉

同系統のRCを複数操作するとき、周波数が混合するのを防止するために、A／B／Cの周波数が設けられています。下記の操作で反応するものを選択してください。
①本体の電源スイッチを入れ、平らで安全な場所に置きます。
②A／B／Cの中から使いたい周波数を選択して送信機の電源をONにします。
④上昇/下降レバーを一度上げてから下に下げます。電源ランプが点灯し、本体の操作が可能になります。
⑤周波数が合っていることを確認するため、送信機の上昇/下降レバーを上へ少し傾けます。
⑥本体のローターが回転したら、周波数が一致しています。

〈トリム調整の仕方〉※まっすぐ飛ばすために調整します。

●本体を平らな場所に置き本体後部が操縦者に向くようにしてください。
●送信機の上昇/下降レバーをゆっくりと少しずつ上げて本体を離陸させて下さい。
●本体を1mぐらいの高さで飛行させて本体を安定させて下さい。
　本体が右に旋回してしまう場合：送信機のトリム調整ボタンLを押して調整します。
　本体が左に旋回してしまう場合：送信機のトリム調整ボタンRを押して調整します。

操作ミスにより破損した場合、修理費用はお客様のご負担になりますので予めご了承下さい。慣れないうちはあまり高く飛行せず、1m位の高さで下に柔らかい物を敷くなどして練習をして一通りの操作が出来るようになってから徐々に高さを上げてください。

上昇　：　上昇/下降レバーを上げます。　**下図❶**
下降　：　上昇/下降レバーを下げます。　**下図❷**
ホバリング：　上昇/下降レバーを調整して高度を一定に保ちます。以後の動作はこの状態を基本とします。
前進　：　ホバリング状態で、方向レバーを少しずつ上げます。　**下図❸**
後進　：　ホバリング状態で、方向レバーを少しずつ下げます。　**下図❹**
左旋回　：　ホバリング状態で、方向レバーを少しずつ左に倒します。　**下図❺**
右旋回　：　ホバリング状態で、方向レバーを少しずつ右に倒します。　**下図❻**